

### 第3章 坂井市水道事業のこれまでの取り組みの自己評価

前回の「坂井市地域水道ビジョン」で示した施策に対する取り組み状況について、自己評価を行います。さらに、各施策について、今後も継続的に実施するべきかどうかの見通しについても示します。

「坂井市地域水道ビジョン」では、「安心」「安定」「持続」「環境」の視点から、坂井市水道事業が取り組む施策を以下のように掲げており、各施策の取り組み状況と今後の見通しを整理します。

近年、坂井市水道事業は木部配水池の新設や紫外線処理設備の導入等、新しく整備する施設及び設備に取り組んできました。これにより、水圧及び水量不足の解消やクリプトスポリジウム対策を実施することができました。

ただし、新規整備事業に積極的に取り組んできた結果、既存の施設、管路、設備の更新及び耐震化については一部遅れが生じており、今後は老朽化・耐震化対策を中心とした施策への取り組みが必要となります。

「坂井市地域水道ビジョン」で掲げた施策の取り組み状況等（安心）

目標	主要施策	施策の展開	取り組み状況と今後の見通し
『安心』 安心して だれもが 利用できる 水道	良質な自己水源の確保	新規水源開発	一部実施済み
	クリプトスポリジウム対策の実施	紫外線処理設備の導入	事業完了
	水質管理体制の強化	自動水質監視装置の設置	一部設置済み（未設置の箇所に関しても毎日点検を入れている。これらの箇所については、今後の状況にあわせて対応）
	鉛給水管・石綿管の解消	鉛給水管の更新	一部実施済み （布設替えが困難な箇所が残っている）
		石綿管の更新	一部実施済み （布設替えが困難な箇所が残っている）
	配水エリアの検討	幹線管路の更新	一部実施済み
		増圧ポンプの設置	一部実施済み
		配水池新設（木部付近）	事業完了
		配水池増設	一部実施済み

「坂井市地域水道ビジョン」で掲げた施策の取り組み状況等（安定、持続、環境）

目標	主要施策	施策の展開	取り組み状況と今後の見通し
『安定』 継続して (未来へ) 安定した 水を供給 できる水道	計画的な施設の更新	老朽管の更新	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
		機械・電気設備の更新	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
	経営基盤の強化	資産の有効活用と効率的な資産運用の実施	未実施（今後、検討を進める）
		料金水準の適正化	未実施（今後、検討を進める）
		料金収入以外の収入財源確保	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
	組織に合理化と 民間委託の検討	スリム化された組織体制の確立	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
		委託可能業務の選定	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
	水道サービスの向上	情報公開の推進とホームページの充実	事業実施中であり、 今後更なる充実化に努める
定期的なアンケート調査の実施または モニター制度の導入		未実施（今後、検討を進める）	
『持続』 災害に強い 水道	応急給水拠点の整備	地下式耐震貯水槽の設置	未実施 (今後の状況にあわせて検討)
	基幹施設の耐震化	構造物 二次診断の実施と補強工事	一部実施済み
		管路 耐震化	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
危機管理マニュアルの 整備	危機管理マニュアルの作成 (応急給水・応急復旧体制の確立)	作成済み（今後の状況にあわせて見直し予定）	
『環境』 環境に やさしい 水道	環境負荷の低減	鳴鹿配水池の新設	事業完了
		省エネルギー型機器の導入	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
		節水意識の向上を目指した広報活動の推進	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
	リサイクルの推進	建設副産物の再利用推進	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み
	環境管理の推進	ISO 14001の導入検討	未実施 (今後の状況にあわせて検討)
		環境会計導入の検討	未実施 (今後の状況にあわせて検討)
		グリーン購入の推進	事業実施中であり、 今後も継続して取り組み